

# ☆ほしのマガジン☆

NO.60

発行：星野しゅんじ後援会

〒492-8143 稲沢市駅前3丁目2-21  
TEL/FAX 0587-32-9905 E-mail : shunji@pastel.ocn.ne.jp  
ホームページ <https://shunji-hoshino.com/>



## ～ごあいさつ～

朝夕冷え込む季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

今年の夏は、3年ぶりの行動規制なしでの長期連休となり、皆さまにおかれましては感染予防策を徹底した上で満喫されたことと存じます。しかし、新規陽性者数が引き続き高い水準にあることから、社会経済活動とのバランスを取りながら、感染拡大の防止に取り組んでいくことが不可欠であります。

今年度以降、原油価格と物価の高騰で、私たちの生活に大きく影響しています。引き続き、コロナ禍において原油価格や物価高騰の影響を受けている方々に対する経済的支援や地域課題に取り組んでいきます。

今回は、6月定例議会、9月定例議会をご報告します。ご意見、ご感想をいただけましたら幸いです。



稲沢市議会議員 星野 俊次

## ～6月定例議会～

6月定例議会は、6月9日から27日までの会期で開かれました。市長から提出された議案は、「令和4年度稲沢市一般会計補正予算」など18件、報告10件いずれも原案を可決しました。また、「地方公共団体情報システムの標準化に向けての意見書」を可決し、内閣総理大臣等へ提出しました。

## ★主な補正予算内容

### ■原油価格や物価高騰の影響による経済的支援策(市の単独事業)

#### ☆水道料金準備料金補助事業

内容：水道料金の基本料金（準備料金）を4ヵ月分免除  
期間：令和4年10月請求分から令和5年1月請求分まで

#### ☆保育園等給食費（副食代）無償化事業

内容：児童1人当たり9,000円（4,500円/月）  
期間：令和4年7月から令和4年8月まで2ヵ月分

#### ☆保育園等紙おむつ提供事業

内容：保育園等の保育時間中に使用する紙おむつを施設で用意  
期間：令和4年10月から令和5年3月まで

#### ☆学校給食費支援事業

##### ① 学校給食費無償化事業

期間：令和4年9月1日から令和4年10月31日

##### ② 値上げに伴う負担軽減

内容：20円/1食分を公費で負担する  
期間：令和4年11月1日から令和5年3月31日まで  
※値上げ額20円/1食、期間：令和4年9月1日から実施

##### ③ アレルギー対応補助

内容：上記と同等の金額を補助



## ～一般質問の内容～

9月16日に一般質問を行いました。主な発言内容は、下記の通りです。質問概要をまとめました。

### 【発言通告内容】

1. 学校現場における課題と教育の充実について
  - (1) 教員不足について
  - (2) 教員の多忙化とその対応について
  - (3) 学校におけるICT活用について
2. 稲沢市民病院について
  - (1) 稲沢市民病院の現状について
  - (2) 稲沢市と尾張西西部医療圏の動向について
  - (3) 今後の方針について



※一般質問は、上記QRコードから録画配信でみることができます。

### 1. 学校現場における課題と教育の充実について

#### 【質問】

全国的に教員不足と報道されているが、稲沢市の現状について。

#### 【教育委員会の考え】

稲沢市内の小中学校においては、令和3年度、令和4年度ともに4月の始業式の時点で教員の不足は生じていない。しかし、年度途中で休職や産休・育休等があった場合、常勤講師が見つからないため、非常勤講師で部分的に補充したり、非常勤講師も見つからず全く補充ができなかったりするケースもあり、人材の確保や配置に大変苦慮している。

稲沢市において、令和3年度に教務主任、校務主任、学年主任が代わりに担任を受け持ったケースは、5学級あった。本年度も9月1日現在で、すでに4学級あり、校内で役割分担等を工夫し協力して取り組んでいるが、一人一人の教職員への負担は重くのしかかっているのが現状である。

#### 【質問】

教員の多忙化解消とその対応について。

#### 【教育委員会の考え】

教職員の在校時間は5年前と比較して確実に短縮されている。平成29年6月には、市内の教職員で在校時間が80時間を超えている者の割合は約39%が、令和4年6月には約16%まで減少している。しかし、新型コロナウイルス感染症への対応、GIGAスクール構想によるタブレットPC活用への対応、不登校や特別支援教育への対応など依然として大きな課題となっている。

その対応としては、市の単独予算で非常勤講師を配置することで、子どもたちと向き合う時間や授業準備のための時間が確保できる。教員の業務支援を行う、スクール・サポート・スタッフのさらなる配置、児童生徒や保護者に関するトラブル等に迅速に対応するスクールソーシャルワーカーやスクールロイヤーの配置など、専門スタッフの配置で多忙化解消ができ、さらに、子どもたちと向き合う時間や授業準備のための時間を生み出すことができる。



#### 【質問】

教員不足の対策、教員の多忙化解消への対応、部活動指導員配置事業など合計18事業、GIGAスクール構想実現に向けた取り組みなどを学校教育課の指導主事5名で担っているが、稲沢市の教育の中心を担っている学校教育課の指導主事を増員し、教員の質の向上につなげることはできないか。

#### 【教育委員会の考え】

指導主事が学校現場の指導に関わらなければならない業務は増加の一途をたどっており、指導主事の勤務状況は大変厳しい状況であると認識している。稲沢の子どもたちにゆきとどいた教育を実現するためには、学校現場の人的・物的環境の充実が何よりも大切である。若い子育て世代からも選ばれる魅力あるまちづくりを進めるためには、どのような対応が必要か、指導主事の増員も含めて総合的に考えていかなければならない課題であると考えている。

## 2. 稲沢市民病院について

### 【質問】

財務状況と人員状況を踏まえた稲沢市民病院の今後の考え方について。

### 【稲沢市民病院の考え】

財務状況は、コロナ関連補助金の影響により、令和2年度、令和3年度の経営状況としては黒字になっているが、医業収益そのものは改善ができていない状況である。

また、医師の人員状況では50代以上が半数を占めており、医師の働き方改革における時間外労働規制が設けられることで、特に、夜間の救急体制の維持が課題である。看護師においては、例年20人程度退職しており、増員には至らない状況である。

今後の取り組みは、患者を受け入れる体制を強化するため、医師、看護師の確保に向けた施策が重要である。医師の確保には、若い研修医が研修後も引き続き当院で勤務してもらえよう、医師の修学資金返還金の助成について検討している。看護師の確保には、令和元年度から休止していた看護職員修学資金の貸与を令和4年4月から再開し、令和5年4月採用予定の看護学生25名のうち、貸与を希望する9名に月5万円、年間60万円を貸与していく。こうした取り組みを行いながら、現在、休床している3階北病棟32床を再開させることが目標と考えている。



### 【質問】

稲沢市民病院の属している尾張西部医療圏の状況が、大きく変化していくことが見込まれる。今後は、どのように変化していくのか。

### 【稲沢市民病院の考え】

愛知県の病床機能報告では、尾張西部医療圏の病床数は、令和3年7月1日時点で、高度急性期病床119床、急性期病床2,403床、回復期病床743床、慢性期病床580床となっている。一方、平成28年10月策定の「愛知県地域医療構想」では、尾張西部構想区域における令和7年度の必要病床数の推計は、高度急性期病床403床、急性期病床1,394床、回復期病床1,508床、慢性期病床613床となっており、令和3年7月1日時点に対し、高度急性期病床288床の不足、急性期病床1,009床の余剰、回復期病床765床の不足、慢性期病床33床の不足となる。

入院、手術が必要な重症患者を受け入れる二次救急病院は、当院を含め、稲沢厚生病院、木曾川市民病院、一宮西病院、泰玄会病院の5病院あり、二次救急では対応できない救命救急医療を行う三次救急病院は一宮市立市民病院、総合大雄会病院の2病院あるが、当院から30分圏内にある一宮西病院では新館の建築が進められており、来年の春には現在の465床から336床増の801床と、尾張西部医療圏で最大規模の病院となり、脅威に感じている。

### 【質問】

稲沢市民病院が急性期と回復期の両輪で取り組んできたが、単独で経営改善することは、難しいと考える。市民病院内の課題、そして尾張西部医療圏の変化に対応するために、どのような方針で進めていくのか。

### 【稲沢市民病院の考え】

現在も進められている地域医療構想の話し合いでは、2019年9月再編統合が必要な424病院が公表され、当院も翌20年1月、追加の20病院の一つとして追加された。今議会でも提出している42床の返還はその結論ともいえるべきものである。これまで、経営の改善に向け、院内で、加算や施設基準の取得、代務医師の雇用による夜間救急の受入体制の強化など努力をし、ある程度の結果を残しているが、医師確保が最大の課題と認識している。

尾張西部医療圏を見ると、一宮西病院の拡大は、当院にとって大きな脅威であり、一宮市立市民病院や大雄会病院にとっても脅威である。尾張西部医療圏での医療提供が大きく変化していく転換期と考える。まず、市内の救急患者は市内の医療機関で対応できるよう、当院と同じ二次救急病院である稲沢厚生病院との救急体制の連携についてこれまでも話し合いをしているが、さらに検討したい。また、一宮市立市民病院との協議を進めており、それぞれの強みを活かした機能分化、連携強化に取り組んでいく。また、一宮市立市民病院との協議を進めており、それぞれの強みを活かした機能分化・連携強化に取り組んでいく。

## ～ 9月定例議会～

9月定例議会は、9月9日から9月30日までの会期で開かれました。市長から提案された議案は、「稲沢市まちづくり振興基金条例の制定」など21件、報告4件、同意案3件をいずれも可決、同意しました。

また、「定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願」を全会一致で採択し、稲沢市議会として意見書を内閣総理大臣等に提出しました。

令和3年度一般会計等9会計の決算については、8人で構成する決算特別委員会を設置し、閉会中の継続審査となりました。

### ★主な補正予算内容

#### ☆新型コロナウイルスワクチン接種事業の経費に係る経費 4億3,600万円

内容：オミクロン株対応ワクチン接種及び5歳から11歳の方の接種事業に係る経費等

※詳細はホームページ等でご確認ください。



#### ☆保育園に係る施設整備用備品の増額 753万円

内容：市内公立保育園における乳児用の遊具や備品等の購入費用



#### ☆稲沢市病院事業の設置に関する条例の一部を改正する条例について

内容：転倒骨折センター開設に伴い、稲沢市民病院の病床数を320床から278床へ42床減少するもの

#### ☆市民会館改修工事（大ホール天井落下防止対策）の請負契約の締結について 4億2,348万円

内容：法律に基づいて、大ホールの天井落下防止対策工事をするもの

工事期間：令和4年（予定）10月中旬～令和5年8月中旬



#### ☆電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 6億4,300万円

内容：電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯に対し、給付金を支給する

支給額：1世帯あたり5万円

支給対象：①令和4年度分の市町村民税均等割が非課税の世帯  
②家計急変世帯

スケジュール：①令和4年11月上旬～中旬（予定）

・住民税非課税世帯へ確認書発送

・住民税非課税世帯及び家計急変世帯の受付開始

②令和4年11月中旬～下旬  
初回振込開始

### ご意見・ご要望をお待ちしています！

市政に関するご意見、ご質問がありましたら「星野事務所」(TEL/FAX:0587-32-9905)までご連絡ください。

E-mail shunji@pastel.ocn.ne.jpでも受け付けています。

【プロフィール】

1975年愛知県稲沢市生まれ 47歳 稲沢市議会議員（5期）

議会活動：議会運営委員会委員、文教厚生委員会委員、

議会改革推進特別委員会委員



稲沢勝手に  
応援団長  
ほし☆のん

家族 妻と一男一女の四大家族